

危険業務従事者叙勲

受章おめでとうございます

春の叙勲・褒章

警察や自衛隊など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲と、顕著な功績を挙げた人などに贈られる、春の叙勲・褒章が4月に発表されました。市内からは、14日に

発表された危険業務従事者叙勲に4人、28日発表された春の褒章に1人、29日発表された春の叙勲に9人がその荣誉に輝きました。受章者の皆さん、おめでとうございます。

藍綬褒章（統計調査功績）



稲葉 英雄さん(79)
水沢区真城字宮田

昭和25年に国勢調査員に任命され、連続11回従事。平成17年まで通算55回各種調査に携わりました。不在がちな家に手紙を置くなど細かな配慮で職責を全うしました。「近年はプライバシーの問題で調査が難しくなっている」と後進の心配もします。

瑞宝単光章（消防功労）



千葉 喜久治さん(75)
水沢区佐倉河字杉ヶ崎

昭和34年に水沢市消防団に入団。平成9年に副団長で退任するまで38年間にわたり活躍。平成8年に柳町で発生した大規模な火災では、現場で陣頭指揮に当たりました。「火災はまず起こさないことが基本」と特に火防点検に力を尽くしました。

旭日双光章（地方自治功労）



佐々木 秀康さん(71)
衣川区六道

衣川村総務課長、助役を歴任し、昭和62年から連続5期衣川村長を務めました。保健・医療・福祉が一体となった施設が「衣川方式」として評価を受けるなど村勢発展に尽力しました。現在も市代表監査委員として新市発展に寄与しています。

旭日小綬章（地方自治功労）



高橋 照治さん(73)
水沢区字福原

昭和46年水沢市議会議員に初当選後、奥州市誕生までの9期連続35年間にわたって議員を務め、地方自治に貢献。特に高速交通に合わせた道路網の整備などに尽力しました。分け隔てのない人付き合いで、人望も厚く誰からも好かれる人柄です。

瑞宝双光章（警察功労）



花山 喜久男さん(75)
水沢区佐倉河字西大畑

昭和27年岩手県警入り。忘れられない事故は昭和46年、雫石上空での全日空機墜落事故。事故原因の捜査では、当時航空機事故のノウハウもなく、フライトシステムの理解に苦労したこと。刑事部門を中心に外勤、警備部門などでも活躍しました。

瑞宝双光章（警察功労）



阿部 國實さん(75)
水沢区真城が丘

昭和26年に岩手県警入りし、27年花巻署に配属。実績が買われて刑事となり、30年以上にわたって、数々の凶悪事件の捜査に携わってきました。退職後は、水沢市交通指導隊長として、子どもたちの交通安全教育にも尽力しました。

旭日単光章（林産物振興功労）



千葉 忠男さん(72)
水沢区東大通り三丁目

仕事で中国へ出張中に受章の連絡を受け「びっくりしている」と千葉さん。自身が代表取締役を務める会社で燃料用、環境浄化や有機農業用の木炭の製造・販売を手掛けてきました。県木炭協会理事として産業振興にも尽力しました。

旭日双光章（援護功労）



鈴木 正巳さん(85)
水沢区字立町

昭和42年岩手県傷痍軍人会員水沢支部に入会。平成8年県傷痍軍人会副会長、14年同会長、日本傷痍軍人会理事を歴任しました。終戦直前の演習で脊髄を負傷し、下肢にハンディを負いながらも家業や軍人会の業務に精励しました。

瑞宝単光章（警察功労）



高橋 昭吉さん(79)
江刺区大通り

海軍軍人で終戦後義兄に勧められ警察官に。昭和24年の宮古署勤務を皮切りに主に交通部門を歩きました。交通安全講習や事故防止に力を入れ、ユーモアを交えた分かりやすい講習が評判となり「タカシヨウさん」の愛称で親しまれました。

瑞宝単光章（防衛功労）



佐藤 信さん(61)
江刺区伊手字新山

祖父の「お前に自衛隊は務まらない」という言葉に発奮。「今考えると、自分の負けず嫌いの性格を見越して言ったのだと思う」と振り返ります。昭和40年に陸上自衛隊入隊。東北・北海道の部隊の本部勤務を中心に、円滑な業務遂行に貢献しました。

瑞宝単光章（技能検定功労）



小野 吉助さん(77)
水沢区秋葉町

家業のガラス店を継ぎ、昭和47年にガラス施工1級技能士資格を取得。岩手県技能検定委員に就任後は講師なども務め「技術は頭で、技能は体で覚えるもの」「ものづくりは人づくり」の信念のもと、後継者の育成指導に当たりました。

瑞宝小綬章（教育功労）



佐竹 良吾さん(77)
水沢区真城字片子沢

「上司や同僚はもちろん、どこに行っても生徒たちに恵まれた」と38年間の教員生活を振り返る佐竹さん。うち16年間は定時制高校の教員を務めました。退職後も水沢市立図書館長、水沢市教育委員長も務め、地域の教育向上に尽力しました。

瑞宝単光章（国土交通業務功労）



小泉 正憲さん(63)
水沢区真城字東鶴巻

受章の報にも「わたしが何で」と謙虚に話す小泉さん。親戚の勧めで昭和43年御所ダム調査事務所に技官（運転業務）として入所。胆沢ダム工事事務所にも勤務し、所長公用車などの運転に従事。正確で安全な運行に心を砕きました。

瑞宝単光章（郵政業務功労）



神田 紀四男さん(66)
水沢区東大通り二丁目

昭和35年の岩手黒石郵便局勤務を振り出しに、郵便配達業務一筋40年。昭和40年ごろにオートバイが導入されるまで、山間部を自転車や徒歩で配達しました。「配達を待ってくれている人がある。それがやりがい」と柔和な笑顔で話していました。

水沢図書館には文科大臣の表彰
子どもの読書活動が評価



菅原義子教育長に受賞を報告した三田館長

水沢図書館の本館と3カ所の分室では、長年地域住民による図書ボランティアが、子どもたちに紙芝居や絵本の読み聞かせなどの活動を行ってきました。また幼稚園児を対象とした図書館体験学習を実施するなど、活動が評価され、子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞しました。

表彰式は子どもの読書の日である4月23日に東京都内で行われ、同館の三田信一館長が出席しました。